

長善寺 秋の永代経法要のご案内

この夏は暑かったですね。気象庁のデータで調べてみると凸凹はあるものならしてみると、長滝では四十年に1℃上がっていました。身近な所で地球温暖化を体感することができました。

毎年春が来て夏になり秋になって冬が来るということを繰り返しています。だから同じことの繰り返しだと思ってしまうかもしれません。でも、同じ夏はありません。よく考えてみれば人生も繰り返しですが同じことは一つとしてありません。

一見同じように見える繰り返しの中で、大切なモノゴトを伝え、一つ一つの体験の中で学びながら成長していくのだと感じます。これを真宗では「お育てに遇う」と言います。

八月六日には毎年子どもたちといっしょに**平和の鐘**を撞いています。「世の中平穏なれ、仏法弘まれ」と願いながら。この写真は子どもたち一人ひとりが鐘を撞くときの様子です。

そして、その後にキッズサンガをしました。今年の参加者は八名で保育園から小五まで。万華鏡を作り、仏様カルタをしました。



※ 拙寺永代経を左記の如く行います。亡き方の法名を長善寺にあります法名軸に記載し、長善寺が続く限り読経させていただくのが永代経法要であります。

一、日時 令和五年 九月 二十三日 (土)

午後一時より四時まで 途中休憩お茶など

一、お勤め 自坊にて

正信偈念仏・和讃

法話 (鷺見郷の話、歳を取るということ)

永代経加入のご先祖